

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【公開番号】特開2011-103565(P2011-103565A)

【公開日】平成23年5月26日 (2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2009-257717(P2009-257717)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/73 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/73

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月9日 (2012.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電源部を備え、外部機器と無線通信を行う際の通信にかかるモードを複数設定可能な携帯情報端末であって、

前記電源部のバッテリー容量を確認する確認手段と、

前記複数設定された通信にかかるモードを切り替える閾値を記憶する記憶手段と、

前記確認手段による確認の結果得られたバッテリー容量と、前記記憶手段により記憶された閾値とに従って、前記外部機器との通信にかかるモードを、前記複数設定された通信にかかるモードの中から選択された他の通信にかかるモードに切り替える切り替え手段とを有することを特徴とする携帯情報端末。

【請求項 2】

前記複数設定された通信にかかるモードをそれぞれ切り替えるバッテリー容量の閾値をそれぞれ登録する登録手段を更に備え、

前記切り替え手段は、前記登録手段により登録されたバッテリー容量の閾値を用いて、通信にかかるモードを切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の携帯情報端末。

【請求項 3】

アプリケーションを起動する起動手段を更に備え、

前記確認手段は、前記起動手段によりアプリケーションが起動している間、所定のタイミングで確認を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の携帯情報端末。

【請求項 4】

前記通信にかかるモードには、外部機器と常時接続する常時接続モード、予め定められた接続ポイントに達した際に事前接続して通信後に切断する事前接続モード、通信を行う都度接続と切断を行う都度接続モードとが含まれることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の携帯情報端末。

【請求項 5】

電源部を備え、外部機器と無線通信を行う際の通信にかかるモードを複数設定可能であり、前記複数設定された通信にかかるモードを切り替える閾値を記憶する記憶手段とを有する携帯情報端末における制御方法であって、

前記電源部のバッテリー容量を確認する確認ステップと、

前記確認ステップによる確認の結果得られたバッテリー容量と、前記記憶手段により記憶

された閾値とに従って、前記外部機器との通信にかかるモードを、前記複数設定された通信にかかるモードの中から選択された他の通信にかかるモードに切り替える切り替えステップと

を含むことを特徴とする制御方法。

【請求項 6】

電源部を備え、外部機器と無線通信を行う際の通信にかかるモードを複数設定可能であり、前記複数設定された通信にかかるモードを切り替える閾値を記憶する記憶手段とを有する携帯情報端末において実行可能なプログラムであって、

前記電源部のバッテリー容量を確認する確認手段、

前記確認手段による確認の結果得られたバッテリー容量と、前記記憶手段により記憶された閾値とに従って、前記外部機器との通信にかかるモードを、前記複数設定された通信にかかるモードの中から選択された他の通信にかかるモードに切り替える切り替え手段として前記携帯情報端末を機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、携帯情報端末のバッテリー容量に従って、携帯情報端末と外部機器との通信にかかるモードを切り替えることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、電源部を備え、外部機器と無線通信を行う際の通信にかかるモードを複数設定可能な携帯情報端末であって、前記電源部のバッテリー容量を確認する確認手段と、前記複数設定された通信にかかるモードを切り替える閾値を記憶する記憶手段と、前記確認手段による確認の結果得られたバッテリー容量と、前記記憶手段により記憶された閾値とに従って、前記外部機器との通信にかかるモードを、前記複数設定された通信にかかるモードの中から選択された他の通信にかかるモードに切り替える切り替え手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、携帯情報端末のバッテリー容量に従って、携帯情報端末と外部機器との通信にかかるモードを切り替えることができる。